

オンライン
シンポジウム

女性と依存症

～一緒に、一歩進んでみませんか？～

女性を取り巻く現状を共有し、女性のライフステージごとのいきづらさについて、
どのように気づいているか、気づいたときにどうしているか、
今後の支援のあり方などについて議論します。みなさま、ぜひ、ご視聴ください！

開催日時 令和4年3月16日(水)

開会 18:30～20:40

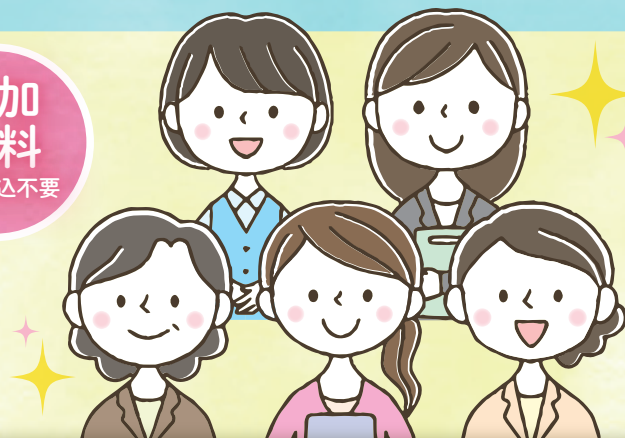
参加
無料

事前申込不要

▼イベントの視聴はこちら

https://youtu.be/U_xtX1csoug

●パソコン・スマートフォンからご視聴可能です。



プログラム

18:30 オープニング

厚生労働省、文部科学省 挨拶

18:35 **Part.1 基調講演**

女性を取り巻く現状

大嶋 栄子 氏

19:00 **Part.2 パネルディスカッション**

一緒に、一歩進んでみませんか？

【モデレーター】 大嶋 栄子 氏

【パネリスト】 秋山 千佳 氏
上岡 陽江 氏
丸田 佳奈 氏
三輪 記子 氏

相互討論・総括

20:35 エンディング

20:40 閉会

※プログラムと時間は予定であり、変更になる場合があります。

出演者

■ 基調講演・モデレーター

大嶋 栄子 氏 特定非営利活動法人リカバリー代表/
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 客員研究員

精神科ソーシャルワーカーを経て、2002年にさまざまな被害体験を背景にもつ女性の支援をおこなう「それいゆ」を立ち上げる。2004年、NPO法人リカバリーとして認証され、現在4カ所の施設を運営。
著書に『その後の不自由』（上岡陽江と共著、医学書院）、『ジェンダーからソーシャルワークを問う』（ヘウレカ）など。
フェミニスト・ソーシャルワークについて実践と研究をおこなっている。2019年に出版した単著『生き延びるためのアクション』（金剛出版）は、2020年度「日本社会福祉学会奨励賞（単著部門）」を受賞。

■ パネリスト（五十音順）

秋山 千佳 氏 ジャーナリスト

ジャーナリスト。朝日新聞社に入社し、記者として大津、広島の高松局を経て、大阪社会部、東京社会部で事件や教育などを担当。2013年に退社し、フリーに。
九州女子短期大学特別客員教授。著書に『実像 広島「ぼっちゃん」中本 忠子の真実』（KADOKAWA）、『ルボ保健室 子どもの貧困・虐待・性のリアル』（朝日新書）など。2022年3月18日に新著『東大女子という生き方』（文春新書）を発売。季刊ビィ（133号～138号）内にて、「依存の「入り口」に立つ子どもたち」をテーマとして現代社会の歪みなどについて連載を展開。教育現場の取材多数あり。

上岡 陽江 氏 ダルク女性ハウス代表/精神保健福祉士

こどもの頃から重度のぜんそくがあり、小学校6年生から中学三年まで入院生活を送る中で処方薬依存と摂食障害に19歳以降にアルコール依存症を併発、26歳にして回復プログラムにつながる。1991年に、薬物・アルコール依存をもつ女性をサポートする「ダルク女性ハウス」を設立、今に至る。
現在は、「ハームリダクション東京共同代表」でもある。また、東京大学最先端科学技術研究センター協力研究員として当事者研究にも携わる。著書に『生きのびるための犯罪（みち）』、共著に『その後の不自由』『虐待という迷宮』など

丸田 佳奈 氏 産婦人科医

摂食障害（拒食症）で治療のため産婦人科に入院した経験から、産婦人科医を志す。産婦人科専門医、母体保護法指定医。2007年度「ミス日本」。総合周産期母子医療センター勤務の後、現在は診療所で、外来診療や分娩、手術を担当する。現役医師の立場から、テレビやラジオ、雑誌等メディアを通じ、さまざまな医療情報を発信。

著者に『キレイの秘訣は女性ホルモン』女医丸田佳奈が答える47の悩み相談』（小学館）、『間違いだらけの産活』（学研パブリッシング）など。

三輪 記子 氏 弁護士

2010年、弁護士登録。2012年に京都にて三輪記子法律事務所開設。2017年秋に東京（第一東京弁護士会）に登録を移す。2021年3月には、三輪記子の法律事務所開設。

「依頼者と一緒に悩み問題解決に向き合い、学び続ける」を大切にする姿勢で、離婚事件、犯罪被害者の事件、セクハラ・パワハラやその他男女トラブルや家事事件を多数手がける。ジェンダー問題にも精通し、報道・情報番組のコメンテーターとしても活躍。

主催：厚生労働省 共催：文部科学省



お問い合わせ

依存症の理解を深めるための普及啓発事業 事務局
E-mail: mail@izonsho.jp

依存症 理解 検索



ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare